

共焦点レーザー顕微鏡 LSM980及びLSM710 利用心得

オープンファシリティセンター（大学1号館1階115号室）に設置の共焦点レーザー顕微鏡 LSM980 及び LSM710 の利用については、以下の事項を遵守しなければならない。

1. 利用申請

共焦点レーザー顕微鏡LSM980 及びLSM710 を利用する場合は、年度ごとに「共利研共焦点レーザー顕微鏡 LSM980 及び LSM710 利用申請書」を提出し許可を得ること。

また、利用者の過失で故障した場合、修理・部品交換の費用を請求する場合がありますので、所属長の承認の上、申請すること。

2. 利用制限

【LSM980・LSM710 共通】

- ・初めて利用する者は、申請書を提出し、担当者より講習を受けること。
- ・講座内等での講習は、禁止（弟子、孫弟子のオペレーションは、禁止）。
- ・感染の恐れがある試料の持ち込みは、禁止。
- ・試薬、資材、廃棄物は持ち帰ること。

【LSM980】

- ・LSM710 など他の共焦点レーザー顕微鏡の使用経験（2ヶ月以上）を有していること。
- ・利用者は、サンプル調製法、及び顕微鏡の使用方法を熟知していること。
- ・利用時間は、原則平日9時～17時とする。
時間外利用を希望する場合は、担当者に申し出て許可を得ること。

3. 予約について

- ・利用の際は、機器予約システムに予約すること。
- ・機器の修理・調整等を優先し、予約の取消および利用を制限する場合があります。
- ・機器の有効利用の為、予約時間30分を過ぎても利用が無い場合、当該予約を取り消し、他のユーザーに利用してもらうことがある。
- ・予約は、原則3回/1週間とし、1回の予約は4時間以内とするが、利用状況に応じ、調整を行う。予約は4週間先まで可とする。4週間以上先の予約については担当者に相談すること。

4. 使用記録簿について

- ・機器利用後は、使用記録簿に記載すること。
なお、機器の不具合、及び消耗品の不足等がある場合は、その旨をコメント欄へ記入し、担当者に速やかに連絡すること。
- ・培養装置の使用時間、油浸レンズ利用の有無を記録すること。

5. データの保存

- ・保存先は、ハードディスクの D ドライブの講座毎のフォルダへ保存する。
- ・データは、利用者の責任でバックアップをとること。
- ・データは半年毎に担当者が破棄する。
- ・データの回収方法はサーバーを介して行う。USB, 外付け HDD を使用する場合、ウイルスチェックをすること。サーバーからは原則 2 週間以内にデータを持ち帰ること。

6. レーザー

【LSM980】

利用終了後、必ず OFF にすること。

【LSM710】

機器利用後、次の予約が 1 時間以内にある場合は、ON にしておくこと。

7. 対物レンズ

油浸レンズのクリーニングは、備え付けのオイルを使用し、以下の手順で行うこと。

- (1) レンズペーパーでオイルを拭き取る。
- (2) 備え付けのレンズクリーナーを綿棒に含ませ、内側から外側へ優しく拭きとる。
- (3) オイルを付けたままレボルバーを回すと他のレンズにもオイルが付くことがあるので、他のレンズも同様にクリーニングする。

8. その他

利用心得に従わない場合は、機器の利用を禁止することがある。

以上